

架装減トン問題

＝架装減トン問題＝

普通自動車である貨物自動車に、保冷装置やパワーリフトを備え付ける(架装)場合、最大積載量をそのまま維持しようとする、車両総重量が増加してしまい、結果として普通自動車の車両総重量の上限を超えてしまうことから、普通免許で運転するためには、上限を超えている重量分を積載量から減らさなければならない(減トン)という問題。

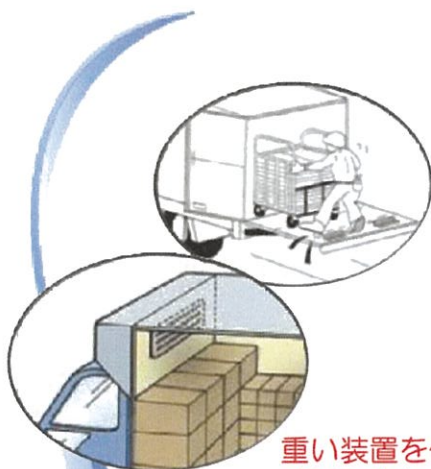


平ボディ
積載量 2t
車両総重量 5t未満

普通免許での
運転が可能

環境対策
衛生対策

- 平ボディ → バン型への変更
荷台・シャーシの強化
 - ハイブリッドエンジン(バッテリー)
 - 保冷装置
 - パワーリフト
- 等 } を架装



重い装置を付加
することに



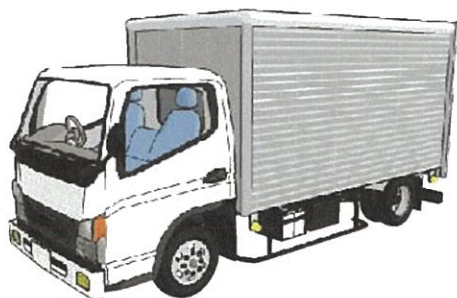
だけど 積載量は絶対維持

車両総重量を引き上げざるを得ない

積載量が減ると...
荷主からの
・送料金の減額
・過積載の強要 etc

なぜなら...

架装により車両重量が増加
同じ車両総重量を維持しようすると
積載量を減トンしなければならない



結果 バン型
積載量 2t
車両総重量 5t超

普通免許での
運転不可

・コンビニ配送
・宅急便集配
等流通における中心的存在